

「JENESYS2.0」

中国動物検疫青年交流団

訪問日程 平成29年3月1日(水)～3月8日(水)

1 プログラム概要

中国国家質量監督検験検疫総局が派遣した、中国動物検疫青年交流団(団長:袁文澤(エン・ブンタク) 国家質量監督検験検疫総局動植物検疫監管司 動物検疫処 処長)計35名が、3月1日から3月8日までの7泊8日の日程で来日しました。

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、代表団は東京・神奈川・栃木・茨城を訪問し、日本の動物検疫関係各所の視察や食品メーカー訪問等、関係者との交流を通じて日本の同分野への理解と関係者との親睦を深めました。

また、日本の社会・歴史・文化等が体感できるような施設や、地方都市の参観を通じて、日本についての多面的な理解を深めました。

2 日程**3月1日(水)**

- ・羽田空港より入国
- ・皇居、東京タワー見学
- ・オリエンテーション

3月2日(木)

- ・農林水産省動物検疫所(横浜本所)訪問
- ・歓迎会

3月3日(金)

- ・農林水産省動物検疫所(羽田空港支所)訪問

3月4日(土)

- ・日光(栃木)へ移動
- ・華厳の滝、日光東照宮見学
- ・日本文化体験(和風旅館宿泊)

3月5日(日)

- ・日光江戸村見学
- ・水戸(茨城)へ移動
- ・偕楽園見学

3月6日(月)

- ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術研究機構 動物衛生研究部門訪問
- ・雪印メグミルク株式会社 阿見工場視察
- ・牛久大仏見学

3月7日(火)

- ・キューピー株式会社 五霞工場視察
- ・商業施設視察
- ・歓送報告会

3月8日(水)

- ・羽田空港より帰国

3 写真



3月1日
オリエンテーション

(東京都)



3月2日
農林水産省動物検疫所(横浜本所)訪問

(神奈川県)



3月2日
歓迎会

(東京都)



3月3日
農林水産省動物検疫所(羽田空港支所)訪問

(東京都)



3月4日
日光東照宮見学

(栃木県)



3月6日
雪印メグミルク株式会社 阿見工場視察

(茨城県)



3月7日
キューピー株式会社 五霞工場 視察
(茨城県)



3月7日
歓送報告会
(東京都)

4 参加者の感想（抜粋）

○これまで、日本の印象はテレビで得たものだけであったが、今回日本を訪れる機会を得て、また、職場の同僚たちと一緒に各種施設や研究機関を見学することができ、様々な細かな部分やハイテク技術に深い印象を受けた。言葉が通じず、風習は異なり、意思疎通も容易でなかったが、我々の交流と学習に影響はなかった。日本人は友好的で、研究機関の職員であれ、通りですれ違う人々であれ、皆心からの笑顔を我々に向けてくれて、我々一行は心が温かくなった。

日本は大きくはないが、どの公共施設も先進的で便利であった。いずれも人々の利便性を考慮しており、心遣いが行き届いていた。皆自ら進んで環境衛生を維持しており、それが当たり前となっているようであった。皆が時間を厳守し、会議でもイベントでも、とても段取りがよかった。日本の商業施設は発展しており、皆楽しくて帰るのを忘れそうなほどであった。機会があれば、もう一度訪れて、もっと深く現地の生活に溶け込んでみたい。

○印象深かった事柄は以下の通り。

1. 清潔で整然としている。通日も、自動車も、各種公共施設もいずれも非常に整然としていた。
2. 礼儀正しい。日本の方々是非常に礼儀を重んじ、普段の付き合いから学术交流に至るまで、とても親切で感動した。
3. 法治レベルが高い。日本人は人、企業、さらには社会全体との関係においてまで規則、秩序を重んじる。相互に信頼関係があり、相手が規則通りに物事を進めると信じている。これは、長年にわたり法に基づいて物事を処理してきた結果であるに違いない。
4. 物事にまじめに取り組む。日本では、駐車の誘導員、従業員、専門家・学者、役人にいたるまで、皆自らの仕事に真剣に取り組む、とても意欲的で、感動するほどまじめである。

○日本の動物検疫所を見学したが、それほどの驚きはなかった。それは、我が国(中国)の検査設備が今や日本に追いつき、ひいては追い越しているからだ。しかし、日本の科学研究および技術は一流である。世界をリードしていて、専門家の人材も豊富である。このことから、進んだ設備があるだけでは全く不十分で、人材の育成や科学技術チームの構築が重要であり、私達にとっては任重くして道遠し(実現にはまだ時間がかかる事)なのだと感じた。

○今回参加した動物検疫交流活動で、動物検疫の専門的な角度から日本を知ることができた。動物検疫所横浜本所及び羽田空港支所、農研機構での見学を通して、日本の進んだ動物検疫の理念や技術水準を知ることができた。また、雪印メグミルク株式会社、キューピー株式会社を見学し、日本の食品メーカーの社会に対する強い責任感、製品について絶えず進化を求める業界の気風に感銘を受けた。

○今回の活動で、皇居、東京タワーを見学し、動物検疫所横浜本所と交流を行い、日本の検疫の全工程を現場で知ることができた。栃木と茨城では、現地の風土や人々の好意に触れることができた。企業では、技術者と交流した。江戸村では、日本の方々と熱心に交流を行った。発展途上国である中国は、国土が広く、日本のレベルまで発展するにはまだまだ時間がかかると強く感じた。しかし、今回の日本訪問で、私の日中友好の信念は揺るぎないものとなった。中国はすぐに近代的強国になるであろう。より多くの日本の方々が中国を訪れ、交流してほしい。

○今回貴重な機会を得て、日本農林水産省動物検疫所横浜本所、羽田空港支所、農研機構、雪印メグミルク株式会社、キューピー株式会社を見学したことで、日本の進んだ動物検疫の理念および技術水準、日本の食品メーカーの企業文化の魅力、社会に対する強い責任感を深く、直接的に知ることができた。そして自発的、自律的な環境保護意識、企業の従業員が心から職場を愛し、自らの仕事に熱心に取り組む姿に、私も感化された。